



土崎みなと歴史伝承館

入館者10万人

達成しました！

6月26日、土崎みなと歴史伝承館の入館者が10万人を達成しました。

10万人目となった大仙市在住の斉藤敏子さんには記念品として、土崎港と関連深い「昆布やかすべ煮などの詰め合わせセット」が贈られました。

【問】土崎みなと歴史伝承館

☎(838)4244



10万人目となった斉藤さん(後列左)と一緒に来館されたみなさん、右端が碓谷北部市民SC所長、その隣が佐原土崎みなと街づくり協議会会長

秋田市への寄付ありがとうございます



7月7日の贈呈式。穂積市長の右があいおいニッセイ同和損害保険(株)秋田支店の阪口達彦支店長、左が肥田好史地域戦略室長、右端が小野伸治支社長、左端が山岡寛幸地域戦略室担当次長

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社から、市の地方創生に役立ててほしいと企業版ふるさと納税をしていただきました。

【問】人口減少・移住定住対策課

☎(888)5487

企業版ふるさと納税：企業のみならず、地方公共団体の行う地方創生の取り組みに寄付を行った場合に、税制上の優遇措置が受けられる仕組み

高齢者見守り協定を締結しました

6月23日、市と株式会社マルダイは高齢者見守り協定を締結しました。

この協定では、同社の移動スーパリーに登録しているかたの自宅付近へ訪問した際、「事前」に約束した買い物時間に不在が続いている「郵便物がたまっている」など、何らかの異変を察知した場合、地域包括支援センターなどに連絡し、適切な支援につなげることにしています。

今回の締結によって、見守り協定締結事業者は20社になります。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

◆広報ID番号 1004859

【問】長寿福祉課

☎(888)5668



6月23日の協定締結式で。(株)マルダイの寺田朋和取締役社長(右)と穂積市長

市消防団消防操法大会 訓練の成果を発揮して 見事全県大会へ！



保戸野分団



飯島分団

7月3日、秋田市消防訓練場で、3年ぶりに秋田市消防団消防操法大会が行われ、地域の32分団が日頃の訓練の成果を競い合いました。

その結果、小型ポンプ操法の部では飯島分団が、ポンプ車操法の部では保戸野分団が優勝し、8月20日(土)に秋田県消防学校(由利本荘市岩城)で開催される全県大会に出場することとなりました。全県大会での健闘を祈りましょう！

【問】消防本部警防課

☎(823)4243

新型コロナウイルス

●発熱などの症状があり受診を希望する場合、まずはかかりつけ医に必ず電話でご相談を

かかりつけ医がないなど、医療機関に迷う場合は、下記の「あきた新型コロナ受診相談センター」へご相談ください。紹介された医療機関を受診する際は、必ず事前に受診先へ電話してください。

- ☎(866)7050/24時間対応
- ☎0570-011-567/8:00~17:00
- ☎(895)9176/8:00~17:00



新型コロナウイルスワクチン接種

4回目のワクチン接種を実施しています

- ◆医療機関での個別接種を実施しています。専用ウェブサイトやコールセンターなどご予約ください
- ◆18~59歳の基礎疾患を有するかたなどは4回目接種前に接種券の発行申請が必要です
 - *60歳以上のかたや、精神障害者保健福祉手帳を有するかたなどには、3回目接種から5か月を経過した後に、接種券を住民票の住所に順次お送りしますので申請は不要です。
 - *4回目のワクチン接種についての詳細は、7月に全戸配布したパンフレット(黄緑色の表紙)をご覧ください。

「ワクチン予約サポートセンター」をご利用ください

予約でお困りのかたのために、下記の施設で予約支援(代理予約)を行います。基礎疾患を有するかたなどの接種券発行の申請も支援します。希望されるかたは直接会場へお越しください。開催日時は、毎週月~金曜(祝日も実施)、9:30~17:00。

会場▶中央・東部・西部・北部・河辺・雄和の各市民SC、南部市民SC別館、河辺岩見三内地区コミュニティセンター、大正寺連絡所

- ◆1~3回目のワクチン接種も引き続き実施しています。新型コロナウイルスに感染したことがあるかたもワクチン接種が可能です。詳しくは、コールセンターへお問い合わせください
- ◆5~11歳のお子さんのワクチン接種を、市保健センター(八橋)で実施しています。詳しくは専用ウェブサイトでご確認ください

ワクチン接種専用ウェブサイト
<https://acity-va.com>



ワクチン専用ウェブ

秋田市新型コロナウイルス
ワクチン接種コールセンター

☎0120-73-8970

(平日9:00~18:00)



▶聴覚に障がいのあるかたや、電話での問い合わせが難しいかたはFAXでも受け付けています。健康管理課FAX(883)1158

9月1日は防災の日 災害に備えよう



問▶防災安全対策課☎(888)5434

災害はいつ起きるか分かりません。「生き抜くために最低限必要なものは何か」を考え、3~7日分を目安に

備蓄しましょう。

避難所では必要な物資がすぐには届くとは限りません。薬など1日でも欠かせないものがある場合は、最低3日分は予備を用意してください。

非常持出袋の参考例

非常持出袋の中身は、状況に応じて自分で必要なものをそろえましょう。

☑チェック!

- 貴重品
- 現金 □保険証などの写し
- 食糧
- 飲料水 □非常食
- あると便利なもの
- 懐中電灯 □タオル
- 乾電池 □携帯ラジオ □軍手
- 衛生用品
- マスク □体温計 □ポリ袋
- 除菌シート □スリッパ



必要に応じて準備しましょう

- アレギー対応食 □予備の眼鏡
- 常備薬(お薬手帳の写しも)
- 救急セット □ペット用品
- モバイルバッテリー

「防災ネットあきた」にご登録を

「防災ネットあきた」にメールアドレスを登録すると、大雨や地震などの災害情報や避難指示などの避難情報が配信されます。下記コーナーか、市ホームページからご登録ください。◆広報ID番号 1009827



防災ネット

8月28日(日)に総合防災訓練を 市役所や秋田大橋付近で実施します

当日、雄物川右岸河川敷(秋田大橋東側)で、消防や自衛隊、警察による救助訓練を実施するため、会場周辺では混雑が予想されます。また、ヘリコプターも飛行します。ご迷惑をおかけしますがご協力をお願いします。

◆「防災フェア」も同時開催!

総合防災訓練に合わせ、市役所正面の市民の広場で「防災フェア」を開催します。詳細は、8月19日号の広報あきたでお知らせします。

●文中の「SC」はサービスセンターの略